

### 第3回大西記念文献賞選考経過並びに論文要旨について

この文献賞は故大西名誉会員の御好意により、OR関係者の比較的若い研究者に励みを与えることを意とし、OR関係の優秀な論文に対して授与するものであり、1967年に設定されたものである。

本賞の第3回受賞は、京都大学工学部交通土木工学科助手の青山吉隆君に決定し、1970年第13回総会において発表された。以下その経過について述べる。

まず44年1月に全委員に対象論文の推薦を依頼し、その後選考委員会を4月7日松田武彦選考委員長の下に開催し、推薦のあった青山氏の論文“マス・トランスポーテーションの最適計画”（経営科学、第13巻第1号に掲載のもの）について審査を行ない授賞可と認めたが、なお欠席の委員には書面による賛否を問い、選考委員過半数以上の賛同を得て、この旨理事会にはかり最終決定を得た。

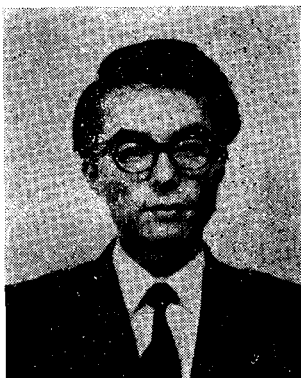
#### 論文の内容

本研究の目的は、都市圏のマス・トランスポーテーションの先行投資計画の方法論の開発である。まず通勤交通に関連する多くの要素間の関係を主に統計的解析によって定式化した。そしてこれらの構造モデルをシステム化することによって、都市圏のマス・トランスポーテーションを都市圏開発の手段として位置づけた。計画手法は交通体系の空間配置パターンの代替案を比較する一種のシミュレーションである。また計画目的は現在のところ客観的合意が存在していないので、著者がいくつかの立場から主観的に目的関数を設定して、それらすべてを計測するという暫定的な方法がとられている。

この方法論は、計画目的の科学化の進展とともに、都市圏のマス・トランスポーテーションの先行投資計画の基礎となるものと思われる。

大西記念文献賞選考委員長 松田武彦

## 青山さんのプロフィール



### 略 歴

1943 (昭18) 年 3 月 5 日生

現 住 所 大津市本丸町6-1-207

1965年 3 月 京都大学工学部土木工学科卒業

1967年 3 月 京都大学大学院工学研究科修士課程修了

1967年 4 月 京都大学 (工学部交通土木工学科) 助手

青山さんの横顔をということで筆をとりましたが、お祝いの言葉ならいくらでものべますが、もともと彼は京大土木天野先生の門下であり、研究経歴や人物についてなら、先生こそ適任であられるはずで、ところが先生はOR学会にご加入いただいていないとかで、私にお鉢がまわって来たそうで、それならいっその際先生にも是非OR学会にご加入いただいて、おまけにこの文章も、と思うのですが……。

それというのも実は今度の青山さんの受賞は、OR学会にとってもひとつの転機であり、日本のORが、企業のORから都市のORへ、ORの理論からORの実際へと、その視野を拡げつつあるあらわれではないかと私には思えるからです。青山さん自身あの論文で、ORをやっているという気持はおそらくなかったのではないのでしょうか。ただ天野先生の流れの中で土木計画学としてのマストラ計画をやったにすぎないのです。それがかくもOR的であり大西賞までも受賞したということは、今さらながらORという滋養分をたっぷり吸った地下茎の、たくましい繁殖力を思わずにはいられません。

彼は目下住宅の需要とその立地について関心を持ち、マストラ計画のもうひとつ前の段階であるはずの問題に意欲的に取り組む姿勢を見せているのも、もともと彼がOR屋であり、土木計画の範囲を出て広く都市計画そのものへと目を向けさせる彼の地下茎がそうさせるのでしょう。

幸いに青山さんの周辺には比較的自由的な研究的雰囲気が充満しており、またすぐれた同僚、協力者にも恵まれているようですので、いまひとつ彼に大胆な想像力が備わってくれば、その成果には大いに期待すべきものがあると信じています。 ((株)都市システム研究所 島内三郎)